

報告書抜粋（会議経過）

2. 関東・東北豪雨による水害検証特別委員 会議経過

会議日時	案 件	協 議 内 容
第 11 回 平成 28 年 2 月 15 日	1. 要求資料に基づく説明及び質疑 2. 国土交通省に対する質問内容の集約	○市の水害初動対応等について資料の説明及び聴取③ [説明者：市民生活部長、都市建設部長、安全安心課長、建設課長] ○国土交通省下館河川事務所に対する、質問事項の集約を行った。 <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>若宮戸の洪水対策を国交省はどう考えていたか。（越水する可能性を高いと想定していたふしがある。）</u> 2. <u>三坂決壊地点付近で河道の土砂の搬出していた事実があり、ダンプの出入り口で堤防が低くなっていたため、もろくなっていたのではないか。（国交省の検証では直接的な影響はないとの見解であるが、その判断基準を聞きたい。）</u> 3. <u>今回パイピングした場所は、堤防としての強度が十分であるかどうか。（今後の整備計画ではどのように考えているか。）</u> 4. <u>2013 年発表の鬼怒川における洪水シミュレーションを国交省は市に伝えていたか、又はそれを一般に公表した事実はあるか。</u> 5. <u>新八間堀川の水海道排水機場で 9 月 10 日の 13 時から 22 時 30 分までポンプの運転を中断した理由は何か、またポンプ中断と再開の連絡は市にしたのか。（決壊後鬼怒川の水位は下がっていたはずである。）更に、新八間堀川の国の管理部分の状況はどうであったか。今後の八間堀川の樋管等の管理をどう考えているか。（樋管等</u>
		）

報告書抜粋（会議経過）

会議日時	案 件	協 議 内 容
		<p>の管理は一元化する必要があるのではないか。)</p> <p>6. 国から県や市側に情報提供した内容を時系列に示して欲しい。 (FAX・メール・電話等すべてのもの)</p> <p>7. 鬼怒川（若宮戸以外の）と小貝川の氾濫シミュレーションの有無、 有る場合は提示して欲しい。</p> <p>8. 八間堀川は1級河川であり、水害に対応できるような整備をお願 いしたいが、どのような考えを持っているか。（鬼怒川と小貝川に きちんと排水出来るような環境整備）</p> <p>9. 若宮戸の無堤地帯は平成13年から出水の危険性があったにもか かわらず、対策を講じなかったのはなぜか。（国と市とどのような 調整を行っていたのか。）</p> <p>10. 河川の整備は下流からが原則と言いながらも、なぜ下流部分が 整備されなかつたのか。</p>
第12回 平成28年2月29日	1. 水害に関する国土交通省関 東地方整備局下館河川事務所 への聞き取りについて 2. その他	○国土交通省関東地方整備局下館河川事務所の水害対応について資料 の説明及び聴取 [参考人：下館河川事務所所長他3名]